

# クリーンアップ及び現場見学

当土地改良区では、21創造運動として、平成14年より開始し、過去8回のブラックバス駆除を行っている。また、現在一ノ目潟は農業用の他に飲料水としても利用されていることから、水質保全のため一ノ目潟周辺のクリーンアップも同時に実施している。今年度は一ノ目潟の水位が高く湖岸での作業が危険なためブラックバス駆除は断念したが、参加者とともに湖岸と堤防周辺のクリーンアップは継続して行った。また、秋田地域振興局農村整備課の協力の下、報告会を行い「一ノ目潟水路トンネルの歴史と改修工事概要」として江戸時代から明治時代に開削された野村川から一ノ目潟に導水する水路トンネルの改修工事の概要を、「一ノ目潟の湖底からのおくりもの」として、湖底堆積物「年縞（ねんこう）」の調査報告を行った。その後、現場見学として実際に水路トンネル内を視察した。今回のブラックバス駆除は実施できなかったが、クリーンアップ活動では参加者に協力していただき堤防周辺の空き缶や、釣り糸を回収した。ごみの量は10ℓ入れのゴミ袋二つ分であった。ごみの量は年々減少傾向にある。遊漁者も年々減少しているのではないかと推測される。報告会では一ノ目潟の歴史や未来に水環境を引き継ぐための取組について理解を深めた。現場見学では実際に掘削の終了したトンネル内を歩くことで、先人の功績と改修工事に携わる関係者の苦労を実感した。普段当たり前のように使っている農業用水と飲料水。詳しい報告を聞き、実際に水質の保全活動に参加し現地を見学することで、先人の偉業を未来への継続することの重要への理解を深める機会となった。



活動体制	
実施主体	水土里ネット一ノ目潟（男鹿市北浦一ノ目潟土地改良区）
後援・連携	男鹿市、秋田県土地改良区事業団体連合会、秋田県秋田地域振興局
実施期間	9月4日
参加者	地元住民、男鹿市、関係者 43名
報道関連	秋田魁新報
活動実績	11回目（ブラックバス駆除の実施平成14年、15年、17年、18年、19年、20年、22年、24年。16年は台風の通過により中止。クリーンアップのみ実施21年、23年、25年）
連絡先	〒010-0683 男鹿市北浦北浦字北浦82-5 男鹿市北浦一ノ目潟土地改良区 TEL.0185-33-4069
その他	県奨励賞（H23）、県知事賞（H25）

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット一ノ目潟（夏井まゆ子）					
○活動の目標及び達成率	目標	湖岸周辺のクリーンアップを土地改良区が主体となり、地元住民とともに行う。報告会及び現場見学により水環境を維持することの重要性に理解を深める			
	達成率	80%			
○活動に対する評価	クリーンナップについては充分活動内容を達成していると感じる。今年度はブラックバス駆除ができなかったが、秋田地域振興局、県土連、男鹿市の皆様のご協力により、活動を続けることができた。報告会及び掘削が完了したトンネル内の見学では参加者から減多にない機会を得たと感想をいただいた。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			②運動の発展・拡大	B	
①役職員・組合員の参加	A		③運動の計画性	B	
②後継者育成の工夫	D		4. 運動の成果		
2. 活動の意義性について			a. 組織活性化	C	
①基本理念の設定	A		b. 地域農業	D	
②地域の歴史等の伝承	A		c. 地域コミュニティー	D	
③運動の先駆性	A		d. 地域資源管理	B	
3. 運動の継続性・発展性			5. 今後の課題等について		
①運動の継続性	A		・継続して運動を行ったことで、水質保全への取組が地域への理解を得つつある。今後も継続して行う努力を続けたい。		

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他